

地域で支え合う災害時対応 ～次の災害に備える人材育成のあり方を考える～

日本財団「被災者支援拠点運営人材育成委員会」は東日本大震災での支援活動経験をもとに、次の大規模災害に備える必要性を痛感して発足したプロジェクトです。子どもや高齢者、障害やアレルギーなどの疾患を持つ方等、被災者の誰もが安心できる避難所を運営し、また地域にとどまっている在宅被災者のために活動できる実践的なしくみと訓練の普及を目的として、地域の民間団体、自治体、企業と連携して活動しています。

報告会では、事業の趣旨や本年度実施している大分県での取り組みを共有するとともに、8月に発生した広島や丹波などでの水害での対応や、今年で10年を迎えた新潟中越地震での現場の声を学び、これからの災害時対応や人材育成のあり方を考えます。

日程

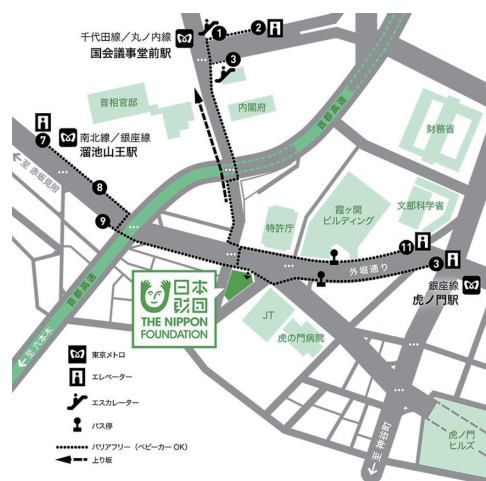
2014年12月17日 水
13:30～16:30

場所：日本財団ビル2階会議室

定員：100名 ※参加費無料

主催：日本財団

被災者支援拠点運営人材育成委員会



【お問合せ先】事務局 一般財団法人 ダイバーシティ研究所
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2丁目3-18 アバコビル5階
TEL 03-6233-9540 E-mail tokyo@diversityjapan.jp

ープログラムー

- ・主催者あいさつ 笹川陽平（日本財団 会長）
- ・事業主旨の説明 川北秀人*（人と組織と地球のための国際研究所代表）
- ・基調講演 室崎益輝（兵庫県立大学）
「災害時におけるボランティア活動と人材育成のあり方について」
- ・モデル事業実施自治体からの紹介
村野淳子*（大分県社会福祉協議会）
- ・パネルディスカッション
「これからの災害時対応と人材育成」
長島忠美（復興庁副大臣）
石田浩巳（広島市安佐北区社会福祉協議会）
村野淳子*（大分県社会福祉協議会）
進行：田村太郎*（一般財団法人ダイバシティ研究所代表理事）
- ・実施報告 青柳光昌*（日本財団ソーシャルイノベーション推進チーム）
「被災者支援拠点の運営と人材育成の取り組みについて」

* は当委員会委員

参加申し込みフォーム (FAX 用)

ご記入の上、一般財団法人ダイバシティ研究所までお申し込み下さい

FAX(03)6233 9560

ふりがな	
お名前	
ご所属	
メールアドレス	
電話番号	

E-mail 又は、お電話でもお申込みを受け付けています

TEL 03-6233-9540 E-mail tokyo@diversityjapan.jp